

2020 年度事業報告

令和式年度は、当会 50 年を超える歴史において、最も大きな変革を遂げざるを得ない、試練の
壱年であった。

本来であれば、新 5 ヶ年行動計画の 5 年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」、
「作業療法士不在地域ゼロ作戦」の完成へと目指してきた最終年度であり、世代交代を考えてい
た壱年であった。

大きな試練を与えたのは言うまでもなく COVID-19 への対策であり、当会の事業も「テレワー
ク」、「リモート開催」などに大きく舵を切ることとなり、令和元年度末の事業から開始が遅れ
る、あるいは中止や実施形態が変わるなど、対応や対策が遅れ変更せざるを得ない状況になった
ことを、会員諸氏をはじめ、多くの方々に影響を与えたこととお詫び申し上げます。

その最も大きな変更が、新人歓迎会の中止と、第 51 回北海道作業療法学会の順延にある。これ
らは、上四半期の開催でなければ web を活用した開催を検討することもできたが、準備が間に合
わず、中止および来年度の開催とし、同じく 4 月から開始予定であった事業、およびそれらを支
える打合せなどの会議自体が開催できず、結局、上半期の事業は大幅に中止を余儀なくされた。

下半期に入り、各部局の web 会議を進め、特に研修会・講習会の実施が徐々に再開されたの
は、執行部各位の努力のたまものであり、お礼を申し上げます。

総じて達観をすれば、度重なる緊急事態措置などにより、「新しい生活習慣」に基づく土会活
動を立て直す基礎を築けた壱年であった。

令和参年度事業および成果に期待をする。

公益社団法人 北海道作業療法士会 会長 清水兼悦

【事務局】

[総務部]

1.会議運営

・定期総会：2020 年 6 月 13 日（みなし決議）

・定例理事会：年 3 回

第 1 回 5 月 23 日、第 2 回 11 月 14 日、第 3 回 3 月 13 日

・臨時理事会：年 2 回

第 1 回 9 月 19 日、第 2 回 1 月 9 日

・電磁的臨時理事会：年 2 回

第 1 回 5 月 29 日、第 2 回 7 月 7 日

・常任理事会：年 2 回開催

第1回 7月18日、 第2回 2月20日

・三役会：年6回開催

第1回 5月23日、第2回 9月17日、第3回 11月9日、第4回 1月7日、第5回 1月11日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電23件：養成校入学式12件、養成校卒業式11件

[財務部]

1. 2020年度予算執行の管理

2. 2020年度中間決算

3. 2020年度収支決算書の作成

4. 2021年度予算案の作成

【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 日本作業療法士協会・47都道府県委員会との連携

3. 他団体等への委員、講師派遣、後援協力

4. 2021年新年交礼会の企画・運営：新型コロナウイルス感染症の市中感染拡大により中止

5. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

【学術部】

[編集委員会]

1. 2020年度[作業療法の実践と科学]の企画・編集・発行

1) 電子版発刊：5月末日、8月末日、11月末日、2月末日

2) 冊子版：2021年2月に発刊、3月発送

3) 新規査読者依頼

2. 投稿論文促進の取組み

1) 課題研究助成者へ投稿促進のお手紙を送付

2) ニュース(毎号)に、投稿論文募集の案内、PSOT掲載論文のタイトル等の掲載

3) LINEに発刊のお知らせ、投稿募集を掲載

3. 優秀論文賞の選考審査

- 1) 2019 年最優秀論文賞の表彰（賞状、副賞授与）
- 2) 2020 年最優秀論文賞選考・決定

[学術課]

1. 学術研究助成金について
 - 1) 2019 年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）
 - 2) 2020 年度学術研究助成金の助成
 - 3) 2021 年度学術研究助成金の募集・選考審査：1 件応募あり、採択となる
2. 生活行為マネジメントに関するデータの蓄積
 - 1) 会員向け、ニュース・HP・研修会による事例の蓄積・データ化への協力依頼
 - 2) 2018 年 4 月～2020 年 10 月 31 日までの収集データの分析結果を HP へ掲載

【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

1. 養成教育課

1) 研修

- ・ ZOOM によるオンライン研修会として実施した
- ・ 研修回数は合計 20 回であった
- ・ 参加者は 1～3 年目の参加者が多いが、現職者研修は幅広し年次の肩に参加頂いた
- ・ 年会費未納者や非会員の受講費一般扱いを徹底した。
- ・ 研修会の分類と回数

① 北海道作業療法士会研修会	4 回
② 現職者選択研修会	3 回
③ 現職者共通研修会	8 回
④ 重点課題研修	1 回
⑤ MTDLP 基礎研修会	1 回
⑥ MTDLP 事例検討会	2 回
⑦ 臨床実習指導者講習会	1 回

2) その他

- ・ ホームページの更新
- ・ 道士会ニュース記事記載
- ・ LINE の発信
- ・ スマレジの管理
- ・ 事例登録の手続き管理
- ・ 生涯教育基礎ポイントの管理
- ・ SIG 登録の手続き管理

2. 生涯教育課

- ・北海道作業療法士会認定会員研修施設一覧を更新

【調査部】

1. 職能・職域に関する会員データの集約と定期的な統計情報公表（開示）に向けた運用の検討
⇒「卒業生動向」「得意分野調査」の実施。
2. LINE 解析の実施
⇒実施。LINE からの流入数は 5～6%に増加（前年 2%）。
アクセス解析も実施しているが、閲覧者の減少と COVIDO-19 の影響により例年の動向と変化あり。
3. 講習会予約ページの管理
⇒各支部、部局へ入力マニュアルを提示し、各部局や支部での運用開始。
⇒問い合わせなどへの対応は随時継続。

【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業
 - 1) 作業療法士志望者へ UTURU13 号を編集発行（漫画を導入）。配布（使用）拡大は再検討。
 - 2) 小・中学生向けの啓発方法の情報収集を全体会議で実施、継続検討。
 - 3) 既存媒体の管理、補充（リーフレット 5 種、ノベルティグッズ等）を実施。使用効率の調査、新グッズの検討については感染拡大下での状況を把握し、継続検討。
2. 会員向け情報発信、支部広報部との連携
 - 1) 道士会ニュース（奇数月）年 6 回の編集発行、WEB データのホームページ掲載。
 - 2) 支部広報部とはオンライン全体会議での情報共有を実施、会員情報伝達形式と運用の検討を開始。道士会ニュースでは共同企画を開始し連携中。
3. 会員内・外向け共通の情報発信と他部局との連携
 - 1) 道士会 LINE の管理、運用：発信作業、登録者増の取り組みの実施。会員外向けの発信増は継続課題
 - 2) ホームページの管理、運用：掲載、更新作業の実施。情報整理、階層等仕様の継続検討
 - 3) 情報発信の方法と形式の継続検討
 - 4) 刊行物発に使用するデータの収集と更新：UTURU 洋データの収集。ニュース掲載賛助会員 PR 広告、養成校情報一覧の更新を実施
 - 5) 50 周年記念誌の会員への配布
4. 道士会事業（主に写真）データの保存管理、提供
5. 広報関連ガイドラインの管理・運用

【事業部】

COVID19 の影響により他団体への参画事業や会合の中止があったが、主催研修会等は形態を変更し実施した。

1. 公益的活動：いきいき健康福祉フェア 2020 へ参画した（10/16～18）
2. 啓発活動
 - ・OT 見学可能施設一覧を道内高校に配布。
 - ・「9 月 25 日 OT の日」啓発に向けて、会員啓発のためノベルティ作成を決定
 - ・一般市民向け作業療法啓発リーフレット作成に向け作業開始
3. 研修事業（作業療法啓発・アドバンス研修）
 - ・生活行為を通した作業療法啓発関連研修実施：MSW・CM 合同生活行為向上リハビリテーション研修会開催（2/18）
 - ・精神科領域のアドバンス研修会実施（1/15）。
4. 介護福祉機器対策課：各モデル事業、協議会の進捗状況の集約

【制度対策部】

1. 新会員歓迎会の開催：COVID-19 感染予防対策として中止。
2. 第 51 回学会での託児運営の実施：COVID-19 感染予防対策として学会自体が延期。
3. 第 51 回学会での「みらいカフェ」の設置：COVID-19 感染予防対策として学会自体が延期。
4. 制度対策部主催研修会、セミナーの開催：COVID-19 感染予防対策として中止。
5. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査：令和元年度～令和 2 年度は名簿登録 812 名が対象。
6. 診療報酬相談・福利相談への対応：診療報酬相談 1 件
7. 入会リーフレット、学生向けフライヤーの管理・作成と配布：入会リーフレットは令和 3 年 1 月に配布。学生向けフライヤーは令和 2 年 10 月に配布。
8. 学生サポートメンバーズカードの作成と配布：令和 2 年度最終学年－1 学年に配布。（実質最終学年、最終学年－1 学年の 2 学年が保有することとなる。）
9. 学生対象無料開放研修会の設定：COVID-19 感染予防対策として中止。
10. 学生への道士会ニュース配布：令和 2 年 11 月号を配布。
11. 養成校・養成校連絡協議会との連携：各養成校の窓口担当者の更新。組織強化に関する郵便物の発送。

【地域部】

[企画運営課]

1. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」の企画運営：オンライン開催：令和 2 年 3 月 6 日（土曜日）開催 受講者 22 名（OT22 名）
2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進、延べ登録者数 16 名（4 月 12 日現在）。令和 2 年は 3 名を認定（審査中の 1 名を除く）
3. COVID-19 対応リーフレットの作成、ホームページ掲載

[地域推進課]

1. 士会受託市町村事業及び士会受託地域ケア会議の把握(地域作業療法推進に関する企画書及び報告書の管理)

2. 地域ケア会議アドバイザー養成 OJT 研修会修了者の情報管理（HARP との連携）
3. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理
4. 北海道作業療法士会認定市町村アドバイザー、市町村担当者名簿を道士会 HP の会員ページへ掲載準備

[認知症施策推進課]

1. 実践事例集の編纂・発行
 - ・2021 年 3 月末発刊、4 月納品 対象：会員及び関係各所 部数：500 部
2. 認知症トピックス関連推進事業
 - ・図書館・就労支援・自動車運転について調査を実施し、実践事例集に掲載
3. 人材育成事業
 - 1)重点課題研修の開催
日時：11 月 15 日(日)13:30~15:00（zoom にて）講師：木元国友（あいしん介護相談センター） テーマ：認知症の人の働く地域支援 参加者：21 名
 - 2)UD 研修の開催：10 月 18 日開催に向けて準備していたがコロナ禍による感染拡大のため中止
4. 講師派遣
 - ・札幌市社会福祉協議会からの講師依頼：10/14(水) 佐藤部員を派遣
5. 広報活動
 - ・道士会ニュースに「OT にひまわりの種をまく」を 6 回掲載
6. その他
 - ・当事者・家族会支援及び連携強化事業、渉外活動はコロナ禍のため中止

【常設委員会】

[総会議事運営委員会]

1. 2020 年度定期総会開催
2. 2021 年度定期総会開催準備

[学会評議委員会]

1. 2020 年度 第 51 回学会の支援
2. 2021 年度 第 51 回学会（WEB 開催）の支援
3. 演題審査委員の委嘱
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 北海道作業療法学会法人化についての検討

[企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営：他施設への協力を依頼中。1施設へ依頼済み
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営：江別市、北海道大学、札幌医科大学、文教大学のスタッフで運営中
3. 5カ年計画（IT機器、福祉機器）への対応：担当部局等の変更・調整を実施
 - 1) 障害者総合支援法及び発達領域の関係法令（児童福祉法及び教育法）への提言
 - 2) 特別支援教育等への作業療法士の参画推進
 - 3) 福祉用具相談支援システムの運用
 - 4) IT機器レンタル事業
 - 5) 福祉機器の研究開発と人材養成
4. 理事会で決議された議案への対応：適宜対応中

[規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の整理
2. 協会員＝士会員に関する調査
3. 定款とその他規程とのすり合わせ

【特設委員会】

[災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った
2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況
3. 協会災害訓練への参加
4. 協会災害研修会等への参加
5. 災害リハビリテーション推進協議会への参加：会議7回、研修会1回開催
6. 豪雨災害に対する熊本県作業療法士会へ抛出

【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催：2回（内1回はZOOM使用）
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と各支部の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 各部局が立案した事業の把握および連携
6. 地域作業療法推進事業の把握および調整
7. 生活行為向上マネジメント講習会の協力開催

[札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部内会議 ZOOM にて実施（3 回）、ブロック連絡会議、ブロック研修会・交流会は中止
3. 札幌支部施設間連絡会は中止催
4. 広報誌の発行（年 2 回）中止
5. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会、現職者選択研修の運営は ZOOM にて実施
6. いきいき福祉フェア実施、ミニさっぽろ・医団協パネル展・OT 啓発活動は中止
7. 出張講座への講師派遣中止
8. 外部関係機関への会員派遣
9. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

[石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会・支部 3 役会議（秋）支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回
4. 現職者共通研修の運営協力
5. 地域作業療法推進事業：市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、市町村の新総合事業に向けての協力、組織化

[空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行 1 回、役員用掲示板の管理
4. 現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、市町村の実態把握、各市町村との連携、各市町村地域ケア会議参加

[後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会は開催せず、報告事項を支部会報誌に掲載、支部内会議は Web 開催とメールでの情報集約で実施
3. 広報誌の発行 1 回
4. 道士会主催支部企画講習会・現職者共通研修会の運営協力は中止
5. いきいき健康祭り、地域イベント活動は中止、次年度の開催方法等検討を始めている
6. 後志地域リハビリテーション推進会議は Web で実施、外部関係機関への派遣は中止
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握は行わなかった

[日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議は中止
3. 広報誌発行（年1回）、新人歓迎会・懇親会は中止
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつり・リレーフォーライフ事業の参加、子育て応援 EXPO への参加、健康フェスタとまこまいへの参加、とまこまいキッズタウン 2020 は中止
6. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

[道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会2回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行3回
4. OTの日啓発事業の企画運営、NPO祭りの参加回
5. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
6. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）、函館市介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）

[道北支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部内会議の開催
3. 広報誌の発行6回
4. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
5. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業への参画（HARP へ依頼）

[十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック会議の開催
3. 広報誌1回発行
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業への参画：地域ケア会議参加 帯広市介護予防事業への OT 派遣

[根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行
4. 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に資する研修会の開催
5. 外部関係機関への派遣
6. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

[網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議の開催（オンラインでの開催）
3. 広報誌の発行3回、オンラインにて新人対面式の開催
4. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
5. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業へのOT派遣